

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

コドモ

編輯顧問 高嶋平三郎先生

幼童雑誌 良友

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雑誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

發行所 東京市小石川區 東林町十五番七區 電話 六一八二 小石川 六一九二

新思潮に適合せる ヒル氏の積木 極大形(最長三尺)

ヒル氏はニューヨーク、コロンビア大學の師範科主任で、此の積木は、氏が十五年間幼児に實施して組織したものである。ヒル氏の説明に由ると。

一、小積木は、目及手の小筋肉練習に兼ねて座業的習慣を養ふには適して居るが、此の時期に於てはより大なる四肢の筋肉運動並に全身運動を要求することが大であるから、立たり据つたり蹲んだり這つたり又は手を延ばして引つぱり、重いものを持ち上げ或は運んだりすることは大なる興味を有つのみならず、健康上にも非常に有益なことである。

一、幼稚園に於ける経験によると、廣い場所に屋根を造り或は二階建の家を造る様な長い太い材料を幼児に與へることが必要である。内觀的にも屋根を造つて遊んだことが非常に愉快であつたことを想起する。此の積木によれば、階段のある家を建て、其の内に入り、階段を上することも出来る、椅子・床・寢臺等を作り其の上にも上ることも出来る、橋を造つて渡ることも出来る。是等は幼児の活潑なる運動を促進する必要な作業である。

一、此の大仕掛の構造は、小積木の出来ざる社交的共同一致の動作を促進するに必要なもので、假令ば、一家を造つて、Lady Come to see, game の遊戯に必要な家具を作ることが出来る。

右一組全重量約八十貫 總數計六百八十個

定價	一組(六百八十個)	金壹百三十圓
	半組(三百四十個)	金六十五圓
	四半組(百七十個)	金三十三圓

備考||此の積木は、本邦に於ては岸邊先生とデスリシ先生が亞米利加から見本を採つて來られたのが始まりで、兩園共目今盛に用ひられて居る。

製造販賣

フレイベル館

東京市麴町區三番町

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)

幼兒教育 第十九卷第十一號

大正八年十一月三日 納本
大正八年十一月五日 發行

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場